

日本画基礎

折り鶴の鉛筆デッサンをもとに日本画材で彩色をします。

膠を使って和紙に岩絵の具などで着色する日本古来の絵画技法が「日本画」です。
自然素材から生まれる日本画の魅力的な肌合いをあなたの手で作ってみませんか。
折り鶴の鉛筆デッサンをもとに日本画材で彩色をします。

作品は5月24日(土)から6月8日(日)まで、かるぽーと7階 BILBO^{ビルボ}ギャラリーで開催される「第77回高知市展」会場に参考出品として展示します。完成した作品のお渡しは6月8日(日)16時以降となります。

※膠(にかわ)…主に動物の皮などから作られる、長い歴史と多くの用途をもった接着剤

※岩絵の具…日本画材料として供給されている顔料。粉末状の顔料で固着力がなく単独では画面に定着しない辰砂、孔雀石、藍銅鈹、ラピスラズリなど様々な鈹石、半貫石を砕いて作った顔料や、粗いものでは結晶形が明瞭なものもある。



- 日 時 5月11日(日)10時~16時
- 会 場 高知市文化プラザ
かるぽーと10階 絵画室
- 参加費 1,500円
- 持ち物 鉛筆B~4B程度2・3本、
筆洗、筆ふきタオル
(墨、硯、筆、刷毛、絵の具皿
等お持ちであればご持参く
ださい)
- 対 象 16歳以上の方
- 定 員 先着15名
- 講 師 市川雅彦
(高知市展日本画専門委員)
- 申込方法 3月15日(土)8時30分から
お電話または直接かるぽー
と8階窓口へ

【お申し込み・お問い合わせ】

高知市文化振興事業団

TEL 088-883-5071

<https://www.kfca.jp/kikaku/>

【主催】

高知市展日本画専門部会

公益財団法人高知市文化振興事業団